

大学と教育委員会等との連携の充実について

1 大学等への指導主事派遣事業の実施

(1) 内容

平成23年度より、新たな教育課題に適切に対応できる高い実践力と応用力を身に付けた教員の育成の一環として、教員養成課程を有する大学や教職大学院に教育庁の指導主事等を派遣し講義を行う。

(2) 実績（令和5年度）

17大学26講義に、教育庁の統括指導主事を派遣

(3) 学生への事前調査結果（※回答者数673人（複数回答可））

単位（人）

講義で知りたいこと	計
働き方について（勤務時間、休暇等）	356
授業づくりや校務について	322
働く環境について（勤務条件、福利厚生、給与等）	310
教育課題、求められる教師像について	286
研修について	166
教員のキャリアについて	135

・派遣者は、事前調査の結果を踏まえ、講義内容に反映

(4) 成果（学生の感想より）

- 教員という仕事は子供の人生に関わること。大変だからこそ、喜びが大きいということが印象に残った。
- 東京都は研修制度が整っており、自分のキャリアを積むことができることは魅力的であると感じた。
- 具体的な働き方改革の話聞き、報道とは異なる視点で働く魅力を知ることができた。

2 学生と教育委員会の懇談会の実施

(1) 内容

懇談を通して、教育委員会が学生の考えや疑問を把握するとともに、学生の教員の職務等への理解を深めるため、教員養成課程の教員を志す学生と都教育委員会の指導主事が懇談する。

(2) 実績（令和5年度）

2大学で試行として実施

(3) 成果（学生の感想より）

- 具体的な1日のスケジュールや、講師が印象に残っている子どもの話を聞くことができてよかった。
- 教員を志望する学生として、今のうちにやっておくべきことや学校とのつながりなど、自分自身に直結する話題について意見交換できた点が印象に残った。

3 「東京都教職課程学生ハンドブック」の作成

(1) 内容

学生が、東京都の教員について理解を深められるよう、現職教員の声や学校生活、大学等で学んでほしいことをハンドブックにまとめ、ホームページに掲載（毎年度更新）

(2) 実績

1都6県の235大学に通知

(3) 課題及び今後の方向性

- 教員を志望する学生に活用してもらえよう、教員に関する様々な情報が網羅されており、必要な情報を検索できるなどの利便性を積極的に周知する。